

九州運輸局メールマガジン フォトライフラー
第420号 令和元年11月14日(木)

現場レポート

小学生が「心のバリアフリー」を学びました！
●バリアフリー教室in若菜小学校:令和元年10月17日(木)

◇概要

- ・九州運輸局では、誰もが高齢者・障害者等に対し「お手伝いしましょうか」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指しています。
- ・その一環として、市民の方々に高齢者・障害者等の疑似・介助体験を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識の向上を図るため、各地で平成14年から「バリアフリー教室」を開催しています。

◇内容

- ・体育館で、飯塚市社会福祉協議会講師の指導によるアイマスクを着用しての視覚障害者疑似体験（介助体験）、及び車いす体験（介助体験）を2人一組で行いました。
- ・グラウンドで、西鉄バス筑豊(株)講師によるバスのバリアフリー機能や乗り方の説明、及び車いすでのバス乗降体験（実演）等を行いました。



視覚障害者疑似体験（講師の方の事前説明）



実際に体験
「上手に声かけてきたかな？」



車いす体験（講師の方の事前説明）



「車いすは正しく使おうね」
「曲がる側の車輪を止めるとスムーズに曲がれるよ」



バスの仕組み・バリアフリー機能等の説明（アイマスクを付けての乗降体験も実施！見学に来られていた保護者の方も体験！）

